

阿修羅—浮き草稼業の女—

頃は昭和 63 年 12 月から 64 年 1 月。昭和から平成となる時代の肥前。

昭和から平成になる時代、平戸、松浦、伊万里を舞台に旧家の姉妹と女剣劇一座のそれぞれの人生を描きます。架空の土地肥前合戦原（かっせんばる）の旧家蔵山家の亡き父太蔵の法事に三人の姉妹が集まります。太蔵は自殺を遂げていますが、実はライバルの千恵蔵の命令で殺されたとの噂もあります。法事の席では筑紫から流れて来た女旅芸人の一座「筑紫座」も余興に招かれています。昔、旅芸人の一座は太蔵が勧進元となって肥前に招かれたものです。「うちらは浮き草稼業やっけん。デラシネたい」「デラシネ」「根無し草たい」。筑紫律子がかつては「マドンナリリー」と呼ばれる花形女優でした。次女の勝子は「ヒロインカッコ」と呼ばれて若い男にもてはやされていました。三女の恵子は「あちこちケリー」と呼ばれる男をもてあそぶ女でした。

一座とはいっても、筑紫律子（40 歳）、筑紫勝子（35 歳）、筑紫恵子（30 歳）の三人姉妹と裏方の老人、かつては川筋の団十郎とまでいわれた下足番で雑用係の宗岡五郎（50 歳）、太鼓と踊りの芸人片岡秀太郎（40 歳）だけです。秀太郎の流し目は人妻や娘たちになかなかの人気です。

仏壇のある座敷の法事の席では女旅芸人一座「筑紫座」による劇「名月赤城山」が演じられています。忠治や子分たちを演じる筑紫三姉妹。

蔵山家の長女は嫁ぐことなく蔵山家を継いだ満子（45 歳）。「あん人はイカゴケの仏のミッコたい」「なんな、イカゴケって」「行かず後家の省略たい」。次女は中学教師に嫁いだ和子（40 歳）。娘の留子は地元肥前高校の女学生です。三女は警察官、巡査の保造に嫁いだ米子（25 歳）。土地は原発誘致賛成派と反対派に分かれて激しく争っています。東町と西町が合併するという噂もあります。

そして、父太蔵のライバルであった太蔵の同級生の親戚で東の網元の山形屋千恵蔵（45 歳）が村長選挙に立候補するとの噂が流れます。千恵蔵の息子で肥前高校生の右太衛門は泣いて反対します。「右太衛門と同級生の留子はちょいとしたロミジュリたい」「なんな、ロミジュリって」「ロミオとジュリエットたい」「そんならそういえばよかるが。なんでも省略すればよかもんでもなか」。留子が流し目の秀と出会うまでは。それを聞きつけた次女の夫、中学教師の津崎正義（35 歳）が激怒し、選挙に立候補をすると言い出します。三人姉妹は、それぞれの立場で大騒ぎとなり、阿修羅となってふた派に分かれてしまいます。そして、台風の前夜、忌まわしい事件が起こります。女旅芸人一座「筑紫座」が津崎正義が粗筋を書いた「合戦原殺しの掟」を上演します。それは蔵山太蔵が自殺を遂げる経緯とそっくりの内容です。これには山形屋千恵蔵が激怒します。津崎正義と山形屋千恵蔵の刃傷沙汰が起こります。その最中に和子の娘の留子が行方不明となります。「神隠しか」。昔は人さらいがあったといわれる土地です。海賊が大陸と行き来したといわれる土地です。殺されたとの噂もあります。

ついに刑事倉崎務（40歳）が動き始めます。巡査の保造も嫁の米子に「よそ者の刑事に手柄ばとられてどげんすつ」とせつつかれて大わらわです。倉崎務は「おいは狙った獲物は逃がしたことがなかつちゃん」と豪語します。「なかつちゃん」「ああ、逮捕がうまかつちゃん」「うまかつちゃん」「ああ」「ばってん、神戸市の太陽神戸銀行の須磨支店に停車中の現金輸送車が乗り逃げされて現金三億二千五百万円ば盗んだ犯人は、こげん西の果てまで逃げて来たとやろか。「この土地は昔は海賊が半島と行き来ばした土地やろが。人さらいのおった土地やろが」「海賊ではなか、水軍たい」「おいは犯人の女ごに惚れる悪か癖のあと」「えっ」「結婚詐欺の女ごば追うたことのあるとよ。二重瞼のよか女ごじゃった」「はあ」「真っ赤な唇で舐ばしなして嘘が巧みで癖の悪か女ごじゃった」「はあ」「その悪か女ごは追い詰めれば追い詰めるほど惚れてしまうとたい」「へえ」「なにせ、二重瞼に舐しなやっけん。とうとう家内とも離婚して全財産は黒か瞳の悪か女ごの嘘でとられてしもた。そんな悪いか女ごもこん土地に逃げて来とるかもしれん」

そして、昭和天皇崩御。新元号は平成と決定します。「現人神人間天皇ふつつながら生きて歴史のなかに入りましぬ」上田三四二

女旅芸人の一座は千恵蔵から唄を歌うことを強要されます。千恵蔵は「平成の大合併」の噂を聞きつけ、婦女子を味方に付けるためにはなりふり構わず動きます。やがて、ひょっこりと留子が帰って来ます。東京にプチ整形手術をしに行ったといい、片山秀太郎の子を妊娠しているといい。またも大騒ぎです。蔵山満子は「思い詰めた女ごは鬼にも蛇にもなるとたい」といい、片岡秀太郎と留子を夫婦にして、秀太郎を旧家蔵山家の婿養子にするといい。仏といわれた満子の采配でした。養子縁組の日、女旅芸人一座は「天保水滸伝」の唄と踊りを披露して解散します。

平成の大合併までを追う『追憶一七人の女詐欺師』に続くサスペンスドラマになります。

「思い詰めた女ごは鬼にも蛇にもなるとたい」。

蔵山満子（通称仏のミッコ・45歳）

蔵山和子（40歳）

蔵山米子（25歳）

蔵山留子（17歳）

筑紫律子（通称マドンナリリー・40歳）

筑紫勝子（通称ヒロインカッコ・35歳）

筑紫恵子（通称あちこちケリー・30歳）

裏方・宗岡吾郎（通称川筋の団十郎・50歳）

旅芸人・片岡秀太郎（通称流し目の秀・40歳）

網元・津崎正義（35歳）

山形屋千恵蔵（45歳）

山形屋右太衛門（17歳）

巡査の保造（35歳）

刑事・倉崎務（40歳）

○紀伊國屋ホール

平成30年6月29日（金）～7月2日（月）

○松浦文化会館

平成30年11月21日（水）